

# 古今東西 くんぐん 行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し  
市民の皆さまの活動の様子な  
どをお伝えします



岩切地区の子育てに関わる団体で構成する「いわきり子育てネットワーク」の皆さんにお話を伺いました。

## 子育てを楽しめるように

岩切地区の子育てサークルや近隣保育園、児童館など、地域の子育てに関する20の団体が連携してできた「いわきり子育てネットワーク」。未就学児親子を対象にした講座を開催するほか、子育てに関して相談できる場を提供するなど、安心して子育てができる環境と仲間づくりに取り組んでいます。会長の山田綾さんは「地域での交流が増えることで、明るく子育てができるように活動しています」と話します。

近年、子育て世代の転入が増加している岩切地区。地域団体を活動してきた緑上浩子さんは「引越してきたお母さん方に保育園や育児サークルなどを案内する中で、子育ての応援部隊として協力してくださる施

設や団体が増えていき、令和3年に任意団体として組織化しました」と成り立ちを教えてくださいました。岩切児童館館長の中島紗都美さんは「行事などを通して、初めは不安そうだったお母さんの表情がだんだん晴れていったり、お子さんが『また来たい』と言ったりするのを見て、やって良かったと回を重ねることに思います」と手応えを感じているそう。「誰にも相談できずに孤立する家庭を必要な支援につなげるよう、地域のさまざまな機関との連携を大事にしています」と話すのは、副会長の育村みどりさん。「お母さんだけでなく、お父さんも行事や活動に参加しやすくすることで、さらにネットワークの広がりができると思います」と期待を込めます。地域でのつながりが、心のよりどころとなり、子育てをする上で気持ちの余裕が生まれてくるのではないのでしょうか。

## より多くの人につながる活動を

ネットワークでは子育て情報をより多くの人へ発信するため、病院や子育てサークル等の情報を掲載した岩切子育て情報リーフレット「IKoNet」を掲載した「IKoNet（防災版）」を作成し、保健センターや地域のお店等で配っているそう。リーフレットの評判について子育てサークル代表の伊在井咲良さんは「避難場所を確認したり、実際に子ども用の防災リュックを

作ったりするのに役立つという声をいただいています」と話します。育児や防災に関する情報が詳しく示されていて、子育て中の親御さんに寄り添うものになっていると感じました。

保育園の園長を務める松嶋恵理子さんは「少しでも子育てが楽に、楽しくできるよう、情報を広め、地域で応援していることを伝えていきたい」、子育て支援クラブ代表の高野典子さんも「一緒に活動できる方を増やし、ネットワークをつないでいきたい」と力強く語ってくれました。



▲岩切子育て情報リーフレットIKoNet

## 地域全体で支える子育て

核家族化やコロナ禍の中で地域のつながりが減ってきたことなどにより、子育てを巡る環境は厳しくなっています。地域全体で連携し、子育て家庭を支えることで、親御さん同士やお子さん同士、支援者との関わりが生まれ、孤立せず、安心して子どもを育てられるのだと思います。

子どもは地域の宝。本市としても、子育てが楽しいと思えるまちづくりに向け、取り組みを進めてまいります。



▲いわきり子育てネットワークの皆さん

